

【オリコンサルグローバル インドネシアの大学 国際シンポで講演】

インドネシアの大学
国際シンポで講演

オリコンサル
グローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは21日、インドネシア・ハサヌディン大学工学部で開かれた国際シンポジウムに参加した。写真。同大工学部とACKグループが共催し、JICA（国際協力機構）などが後援した。

同社は、エコキャンパスを



コンセプトとした同大工学部

整備事業（円借款）で、プロ

ジェクトマネジメントコンサル

タントとして、計画立案か

ら詳細設計、施工監理、機材

調達支援までを行っている。

また、ACKグループ重点化

事業として、大学校舎にスマ

ートメーターや小規模簡易太

陽光発電システムを導入する

ことで、エネルギー消費量の

見える化と、エネルギー管理

システムの効率化を図るスマ

ート化事業を提案し、ファシ

リティマネジメントに取り組

んでいる。

シンポジウムは「Eco-Fr

iendly & Smart Campus」

と題して、プロジェクトによ

る効果に加えて、SDGs

（持続可能な開発目標）と

「仙台防災枠組2015-2

030」を踏まえた周辺イン

フラゼい弱地域の環境、文化、

防災面での公共施設の役割を

講演した。

成田吉弘北大名誉教授（現

JICA専門家）、島谷幸宏

九大教授（環境社会部門水

圏持続学講座）も講演し、公

共事業省、地方防災局、地方

開発企画庁、地方水道公社

などの同国関係者や同大学生

など、100人以上が参加し

た。

また、同日、ACKグルー

プと同大工学部は、「環境にや

さしいスマートキャンパス」

の実現に向けて、同大工学部

構内で、小水力発電・地中熱

発電などを利用した分散型再

生可能エネルギーネットワー

クシステムの構築、地下雨水

貯蔵タンクを利用した再生水

利用システムの構築の共同実

証について、MOA（合意書）

を交わした。